

平成 29 年度 各務原市社会福祉協議会事業報告書

平成29年度 各務原市社会福祉協議会 事業報告

めざす姿

「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」

基本方針

社会福祉法の改正（平成29年4月1日施行）に伴う社会福祉法人制度改革を進めるなか、少子高齢化・人口減少社会の急速な進行により、私たちの身近なところでさまざまな社会問題が生じ、医療や介護、障がい福祉、生活保護、子育て支援、年金などの社会保障制度において、地域の役割や自立支援を前提とした取り組みが、大きくクローズアップされています。

こうした社会情勢のもと、「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」を目指す姿とした第3期地域福祉活動計画の3年目にあたる平成29年度は、誰もが住み慣れたまちで自立した生活が続けられるように、法律や制度だけでは支えきれない生活課題を解決するため、相談窓口の充実や住民による支えあい活動を進め、「地域の力・市民の力を活かす新たな仕組みづくり」を展開しました。

基本目標1 一人ひとりの声を受けとめ、必要とする情報を必要な人に届けます

＜方向性1＞住民の声を受けとめる環境をつくろう

重点事業1 総合相談窓口の充実

①生活相談センターさぽーとの総合相談窓口

- ・さまざまな悩みや困りごとの相談に対応するなど解決に努めました。

相談件数 3,911件

実相談者数 336名

- ・啓発パンフレット等の作成

生活の困りごとの相談に包括的に対応する機関である生活相談センターさぽーとの機能と役割を紹介したパンフレットとポケットティッシュを作成し、関係機関・公共施設等に配布し、周知しました。

②拠点を活用した地域出張相談

- ・身近な場所で相談が受けられるように地域交流拠点である緑苑地区社協「ふらっと」、八木山地区社協「ささえあいの家」において出張相談を実施しました。

相談件数 延べ4件

＜方向性2＞わかりやすく情報を発信しよう

重点事業1 社協活動のPR

①社協だよりやウェブサイトによる情報提供

- ・社協かかみがはらの発行（年4回）

社会福祉協議会の事業や講座の案内、ボランティア募集など福祉の情報提供を

行いました。

(5月15日号、7月15日号、10月15日号、2月15日号)

・ウェブサイト等による情報発信

ホームページやフェイスブックにおいて情報発信を行いました。また、各種メディアにも情報提供し、取材や記事掲載に努めました。

②わたしのお福わけ事業、お福わけ本の製作・配布

・福祉の輪を広げる市民参加型企画「わたしのお福わけ事業」において、各務原にゆかりのある方からのしあわせエピソードを募集したところ、小学1年生から89才までの方より投稿をいただきました。投稿いただいた作品は、随時フェイスブックに掲載、わたしのお福わけ本（第三集）を作成し、市内の学校・金融機関・福祉医療機関等に配布しました。また、大賞を選定する過程で作品展を開催し、温かい福祉の心の輪を広げました。

作品投稿数 : 124作品

わたしのお福わけ作品展：福祉フェスティバル 9月3日（日）及び
産業文化センターエントランスホール
9月6日（水）～9月12日（火）

発表及び表彰 : 11月15日（水）

（第51回 各務原市社会福祉大会）

入選作品 : 『友だち』 大賞 吉川 瑞紗さん 他5作品

③サポート君バッジ・ストラップのPR

・社協キャラクター「サポート君」をイメージしたピンバッジ・ストラップを作成し、社協のPRに努めました。

基本目標2 みんなで支えあうつながりの“わ”を広げます

<方向性1> 住民同士の支えあいを進めよう

重点事業1 近隣ケアグループ活動の支援

①近隣ケアグループ活動の促進

・ご近所さんならではの声かけと見守り活動をとおして、地域のささえあい活動を進める近隣ケアグループ活動の支援を継続しました。

登録数 303グループ 活動員数 2,150名

②近隣ケアグループ全体研修会

開催日 : 5月20日（土）

場 所 : 各務原市民会館

演 題 : 「ご近所福祉～懐かしくて新しい、住民同士のいい関係～」

講 師 : 大井 智香子さん（皇學館大学現代日本社会学部准教授）

参加者数：約1,000名

重点事業2 ボランタリーハウス事業の発展強化

①ボランタリーハウス事業の活動支援

・地域で暮らす高齢者や子育て中の親子、障がいのある人たちが閉じこもりにならないよう気軽に集まることのできるボランタリーハウス事業を促進し、調整等の

支援に努めました。（開設数 103カ所・うち 新規6カ所）

A型（毎週型）	B型（毎月型）	C型（ミニ型）	D型（巡回型）	E型（常設型）
6	87	7	1	2

②ボランタリーハウス事業の啓発

クリアファイルを7,000部作成し、関係機関及び地域活動の際などに配布するとともにアンケート調査を実施しました。

③ボランタリーハウスの立ち上げ支援

- 平成29年度に新規で下記の6か所のボランタリーハウスが立ち上がりました。

B型（毎月型） フレアーレ川崎、ボランタリーハウス希望

C型（ミニ型） ボランタリーハウス住吉、サロン四季

E型（常設型） ふれあいハウスふらっと、ささえあいの家

④ボランタリーハウス事業の拡充

- 常設型交流拠点整備のため「夢を実現プロジェクト事業」を活用し終了した2事業（緑苑地区社協：ふれあいハウスふらっと、八木山地区社協：ささえあいの家）をE型という枠組みを設け、継続した支援を行いました。
- 積極的に介護予防に取り組んでいただくため「体操加算」を新設し、週1回以上体操に取り組むことのできるボランタリーハウスを対象に追加助成を行いました。
- 備品更新助成を使いややすくするため、名称を「備品助成」として改め、前回の購入時より10年が経過していればいつでも利用ができるようにしました。

＜方向性2＞ 団体・組織間で連携しよう

重点事業1 関係機関との連携促進

①各務原市福祉フェスティバル2017 ~つづけていく想い~

開催日：9月3日（日）

場 所：各務原市民会館・中央ライフデザインセンター一帯

来場者数：約2万人 参加団体：75団体

②自治会連合会長・地区社協会長合同会議 4月20日（木）

③母子及び父子並びに寡婦福祉会への助成 50,000円

（母子及び父子並びに寡婦福祉会員ふれあい旅行事業 153名参加）

④更生保護女性会への助成 30,000円

⑤母子父子家庭新入学及び卒業記念品の贈呈事業への助成 71,000円

（新入学児童お祝い会 対象者41名）

ひとり親家庭等児童中学卒業記念品贈呈 対象者101名）

＜方向性3＞ 住民と地域がつながるまちをつくろう

重点事業1 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の充実

①生活相談センターさぽーとと連携した地域課題解決への取り組み

- 地区社協担当者（コミュニティソーシャルワーカー）と生活相談センターさぽーとが情報共有し、地域での見守りや連携がとれる仕組みづくりを進めました。

重点事業2 福祉教育の推進

①福祉推進校・福祉推進企業の促進

- ・次代を担う子どもたちが、さまざまな体験活動をとおして福祉への関心をもち、理解を深めることができるよう福祉推進校に指定しました。また、学校からの要請に応え、福祉体験講座の講師やボランティアを派遣しました。

職員による出前講座 延べ 35回
外部講師による出前講座の調整 延べ 16回
その他 隨時学校と打ち合わせをしながら福祉教育の推進に努めました。

・福祉推進校

小学校16校・中学校8校・高校3校・各務原特別支援学校 計28校

・福祉推進企業

福祉教育推進企業 1企業

②各務原市寺子屋事業「福祉体験学習」

- ・福祉の現場で障がいとお年よりについて学んでもらう、各務原市寺子屋事業「福祉体験学習」を受託し、福祉教育の推進を図りました。また、今年度は新たに中学生コースを設け、将来の職業として福祉の仕事に関心を持ってもらえる機会としました。

寺子屋事業「福祉体験学習」

第1回 7月24日(月) (場所: 福祉の里)
障がい者施設体験コース(小学生) 参加者: 27名
第2回 7月31日(月) (場所: 飛鳥美谷苑)
高齢者施設体験コース(小学生) 参加者: 32名
第3回 8月2日(水) (場所: 福祉の里)
障がい者施設学習コース(中学生) 参加者: 11名
第4回 8月4日(金) (場所: リバーサイド川島園、(株)エーザイ川島工園)
高齢者施設学習コース(中学生) 参加者: 9名

重点事業3 災害ボランティアセンターの充実

①災害ボランティアセンターの機能強化

- ・市総合防災訓練に参加し、災害時の職員の動きについて確認しました。各務原市ひとつづくり講座では、災害ボランティアセンターについて講義を行い、地域住民の理解を深めるよう努めました。

②職員研修において災害ボランティア運営マニュアルによる災害ボランティアセンター運営訓練を行いマニュアルの見直しを行いました。

基本目標3 誰もが進んで参加できる地域福祉活動を続けていきます

<方向性1> 地区社協らしさがだせる取り組みをしよう

重点事業1 地区社協活動の支援

①17地区社協活動の生活支援事業の取り組み支援

- ・企画提案型助成事業の継続支援および拡充

②17地区社協の実情にあわせたメニュー事業の展開

- ・地区交付金 7,321,000円
- ・メニュー事業助成金等および内訳 15,710,008円

事業名	会費趣旨説明会	近隣ケアグループ研修	地域の困りごと調査	福祉座談会	ボランタリーハウス事業	ふれあい交流事業	機関紙の発行	歳末たすけあい特別事業	食を通じた生活支援事業	生活支援プロジェクト団体運営事業	福祉の人財発掘事業
地区社協名	回数	回数	回数	回数	箇所	回数	回数	回数	回数	件数	回数
那加一		1			5	2	2	1			1
那加二東部		1		1	9	2	2	1			1
雄飛	1	1		1	2	3	2	2			1
那加三		1	1	2	8	1	3	2			
尾崎	1			1	3	2	4	1			1
稻羽西		1		1	4	1	2	1			2
稻羽東		1	1	1	2	2	1	1			
川島		1			4	1	1	1	1		
鵜沼第一	1	1	1	1	5	1	2	1			1
鵜沼第二	1	1		2	7	2	2	1			1
陵南		1	1	1	4	2	2	1	1		
鵜沼第三					6	2	2	1	8		4
各務		1			7	3	2	1			3
緑苑		1		1	7	1	12	3			1
八木山		1	2	9	3	6	4	1			9
蘇原北部	1	1		1	14	3	2	1			1
蘇原南部		1		1	13	3	2	1			2
合計	5	15	6	23	103	37	47	21	10	0	28

・夢を実現プロジェクト事業助成金 2,104,057円

各務地区社協、緑苑地区社協、八木山地区社協

・小地域で行う夢を実現プロジェクト事業助成金 1,010,076円

那加一地区社協、稻羽東地区社協、鵜沼第三地区社協、各務地区社協、蘇原南部地区社協

③地区社協会長・福祉推進員合同会議

開催日：2月13日（火）

場所：総合福祉会館

内容：社協会員募集について、平成30年度メニュー事業について

④地区社協会長・福祉推進員研修会

開催日：6月21日（水）

場所：ふれあいハウスふらっと（緑苑地区社協）、
ささえあいの家（八木山地区社協）

内容：緑苑地区社協と八木山地区社協の事例発表及び視察研修

⑤地区社協広報担当研修会及び意見交換会

・地区社協広報担当者研修会

- 開催日：7月5日（水）
 場所：総合福祉会館
 内容：伝わる広報紙の作り方
 講師：中日市民ニュース ところあけみさん
- 地区社協意見交換会

開催日：11月29日（水）
 場所：総合福祉会館
 内容：地区社協組織の現状について

＜方向性2＞ 生活課題に取り組もう

重点事業1 生活相談センターさぽーとの充実

①生活困窮者自立支援事業の実施

- 生活困窮者自立支援法に基づく相談事業を受託し、生活困窮者の社会生活の自立支援と地域づくりを目指した相談支援を行いました。

相談件数 3,911件（再掲）

実相談者数 336名（再掲）

- 生活困窮者の個別支援計画を作成し、関係機関で協議する支援調整会議を5回開催しました。

- 住居確保給付金申請事務にかかる相談を12件（支給決定4件、給付延長1件）
任意事業の一時生活支援事業を3件（相談6件）実施しました。

②生活困窮者への緊急食料品等提供

- 適切な福祉サービス利用へつなぐとともに一時的措置として食料を給付しました。

給付件数 72件（うち寄付米の給付 69件）

セカンドハーベストを通じた食料給付 77件

③ひきこもり家族の会（年6回）

- ひきこもりの家族が集まり、同じような悩みを抱える者同士で茶話会をもちました。気持ちの分かちあいや、気づきを促し、課題の整理や適切な機関へつないでいきました。

＜4月6日（木）、6月1日（木）、8月3日（木）、10月5日（木）
12月7日（木）、2月1日（木）＞

④生活福祉資金貸付事業

- 低所得者世帯や離職者など経済的支援を必要とする世帯に自立を促し、安定した生活を営むため生活支援費や福祉資金などの資金を貸し付け、必要な助言・指導をしました。

資金の種類	新規貸付件数
総合支援資金	0件
緊急小口資金	36件
福祉費	5件
教育支援資金	8件
不動産担保型生活資金（要保護）	3件
合計	52件

- 貸付に関する相談 延べ734件

⑤法人後見事業

- ・弁護士と顧問契約を結ぶなど専門機関との連携を図り、法人での成年後見業務を後見支援員1名の体制で実施しました。

受任件数 1件（類型：後見1件）

⑥成年後見制度普及講座の開催

- ・成年後見制度に興味、関心のある市民を対象に成年後見制度の理解を深める講座を開催しました。成年後見制度利用促進事業として実施し、各務原市・羽島市・岐南町・笠松町2市2町を対象に行いました。

開催日：8月17日（木）

場 所：産業文化センター

講 義：判断能力が低下したときに守ってくれるもの

講 師：春見鉄男さん（権利擁護センター ぱあとなあ岐阜 会員）

参加者数：60名

⑦日常生活自立支援事業

- ・判断能力が低下し日常生活に不安のある人が、住み慣れた地域で安心した生活ができるように、「福祉サービス利用にかかる援助」「日常的金銭管理」「書類等預かり」のサービスを契約に基づき行いました。

生活支援員：8名

継続契約件数：42件

新規契約件数：7件

⑧障がい児者計画相談支援（ケアプラン）の作成、相談支援充実・強化事業

- ・障がい者特定相談支援事業所の指定

障がい者特定相談支援事業所の指定を受け、障がい児者のプラン作成と地域相談支援事業に取り組みました。

計画相談支援件数 68件 モニタリング 76件

- ・相談支援充実・強化事業の実施

障がい児者およびその家族の方に、家庭訪問や電話等によるきめ細やかな相談支援を行い、適切なサービス利用へつないだり、必要な情報提供を行いました。

延べ相談件数 2,419件

支援方法	訪問	来所	電話・メール・FAX	同行・個別支援会議	関係機関との調整	その他
件数	359	315	1,074	39	403	229

重点事業2 福祉有償運送事業の推進

①福祉有償運送事業

- ・運転手を雇用し、利用者に対し安定した利用ができるよう努めました。
- ・利用者登録者に対して、介護認定期間等の確認等更新手続きを行いました。

＜登録者数 24名 運行実績 444回＞

重点事業3 介護保険法・障害者総合支援法に基づく支援

①居宅介護支援事業（ケアプラン作成）、主任ケアマネジャー配置、認定調査実施

- 要介護認定の高齢者等が安心して在宅で生活できるよう、本人や家族と相談して適切な居宅介護サービス計画を作成しました。

介護度	介護度別件数	介護度別比率	月平均件数
要介護1	878件	36.1%	73.2件
要介護2	772件	31.7%	64.3件
要介護3	457件	18.8%	38.1件
要介護4	221件	9.1%	18.4件
要介護5	106件	4.3%	8.8件
計	2,434件	100.0%	202.8件

ケアプラン作成 2,434件

要介護認定調査実施 289件

主任ケアマネジャー 1名配置

②訪問介護事業、障がい児者ヘルパー、ガイドヘルパー派遣事業

- 要介護高齢者や障がい児者の在宅生活を支援するホームヘルパー やガイドヘルパー派遣を行いました。また、制度外サービスとして『まごころサービス』を実施しました。
- 要介護認定者へのサービス提供実績

サービス形態別の実績（要介護1～5）

利用者数 <延べ639名> 月平均利用者数 <53.3名>

内訳	回数	延べ時間
身体介護	2,735	2,013
身体生活	1,421	1,747
生活援助	2,584	2,354
合計	6,740	6,114

- 要支援認定者へのサービス提供実績（総合事業）

利用者数 <延べ609名> 月平均利用者数 <50.8名>

内訳	利用者数	利用頻度
総合事業対象者	67	週1～2回程度
要支援1	190	週1～2回程度
要支援2	352	週2～3回程度
合計	609	

- 障がい児者へのサービス提供実績

利用者数 <延べ727名> 月平均利用者数 <60.6名>

内訳	利用者数	利用回数
身体障がい	196	2,430
知的障がい	157	1,149
精神障がい	131	793
障がい児	35	348
同行援護	75	351

移動支援（障がい者）	130	406
移動支援（障がい児）	3	3
合計	727	5, 480

・高齢者生活援助活動員派遣事業のサービス提供実績

利用者数 <延べ17名> 月平均利用者数 <1.4名>

利用時間 <延べ68時間>

③訪問入浴サービス事業、在宅障がい児者訪問入浴サービス

- ・自宅の浴槽を使っての入浴が困難な要介護高齢者や障がいのある人等を対象に特殊浴槽を用いた居宅での入浴サービスを提供しました。

介護保険の訪問入浴実績

利用者数 <延べ49名> 利用回数 <延べ275回>

障害者総合支援法による実績

利用者数 <延べ63名> 利用回数 <延べ427回>

④生活支援コーディネーター配置事業

- ・生活支援コーディネーター1名を配置し、地域情報を共有しサービス創出につなげる「わがまち会議」（協議体）の立ち上げに向けて、地区社協の区域を単位として学習会を10地区で実施し、4地区でわがまち会議を開催しました。
- ・住民主体の支え合い活動を支援し、市の住民主体の支え合い活動支援事業補助金を活用したミニデイサービス事業が10事業開始されました。

重点事業4 地域包括支援センターの運営

- ・地域の高齢者が安心して暮らせるように、看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、認知症地域支援推進員が連携して介護予防や総合相談、権利擁護などの事業に取り組みました。

① 総合相談支援 <1,093件>

受付別内訳 （電話449件、来所240件、訪問361件、その他43件）

内容別件数 （重複あり）

(1) 介護保険制度の利用	700件
(2) 介護予防事業の利用	39件
(3) 福祉サービスの利用	222件
(4) インフォーマルサービスの利用	108件
(5) 医療・保健サービスの利用	237件
(6) 住宅改修に関する相談	135件
(7) 福祉用具に関する相談	203件
(8) 介護方法に関する相談	181件
(9) 虐待に関する相談	17件
(10) 認知症に関する相談	174件
(11) 権利擁護に関する相談	38件
(12) その他、障がい、出前講座等に関する相談	160件

② 介護予防プランの作成

- ・総合事業対象者のプラン作成<257件>
- ・要支援1、要支援2の利用者にかかるプラン作成<3,582件>

③ 介護予防事業及び在宅介護支援事業

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業対象者把握事業	34件
(2) 転倒骨折予防教室	24回
(3) アクティビティ・認知症予防介護教室	16回
(4) 地域包括ネットワーク事業	3回
(5) 高齢者体力測定補助事業	4回
(6) 認知症サポーター養成事業	20回
(7) 家族介護者教室	2回
(8) 認知症高齢者及び家族支援事業	6回
(9) 認知症高齢者把握事業	4件
(10) 要援護高齢者見守り事業	65件
(11) 住宅改修プラン作成	27件
(12) 食の自立支援事業アセスメント	32件

主な取り組み

・認知症キッズサポーター養成講座<小学校5年生及び中学校2年生対象>

那加第二小学校	3クラス	11月28日（火）
那加第三小学校	2クラス	10月25日（水）
蘇原第二小学校	3クラス	2月20日（火）
桜丘中学校	2クラス	7月12日（水）
	2クラス	7月13日（木）

・認知症サポーター養成講座<市民及び企業対象>

ふれあいサロンひまわり	5月9日（火）	19名参加
手話サークル はにわ会	6月1日（木）	35名参加
那加二東部地区社協 近隣ケアグループ	6月15日（木）	70名参加
一般市民	6月22日（木）	56名参加
各務原市東郵便局	7月7日（金）	38名参加
シルバー人材センター会員	10月5日（木）	18名参加
株式会社モリタ商会 職員	11月6日（月）	16名参加
ティア那加店	2月23日（金）	12名参加

・さくらカフェ（認知症カフェ）の開催

桜丘中学校	10月28日（土）	27名参加
-------	-----------	-------

喫茶ブルーカフェにて開催

第1回 ヒノキのアロマとハンドマッサージ	6月15日（木）	39名参加
----------------------	----------	-------

第2回 ミニパフェデー	7月20日（木）	13名参加
-------------	----------	-------

第3回 100円均一グッズでできる介護のアイディア	9月21日（木）	40名参加
---------------------------	----------	-------

第4回 リンパマッサージ＆リフトアップ	11月16日（木）	33名参加
---------------------	-----------	-------

- 第5回 みんなで歌うクリスマス会 12月14日（木） 39名参加
- ・もの忘れよろず相談医による講話 9月20日（水） 58名参加
講師：各務原病院 天野 宏一先生
講話：「日常生活を見直そう～健康寿命をのばすために～」
 - ・家族介護者教室 年2回
 - 第1回 「嚥下」飲み込みについて 6月19日（月） 24名参加
 - 第2回 「排泄」について 2月27日（火） 27名参加
 - ・地域包括ネットワーク会議
「できるだけ長く元気で在宅生活を続けるために」
 - 第1回 介護保険でできること、できなこと 11月1日（水） 60名参加
 - 第2回 各務原市にある制度外サービスを知ろう 11月21日（火） 79名参加
 - 第3回 高齢者の運転、移動手段について考えよう 12月6日（水） 72名参加
- ④包括的・継続的ケアマネジメント事業（重複あり）

(1) 個別事例への助言対応	45件
(2) サービス担当者会議出席及び開催	26件
(3) ケアマネジャー資質向上のための研修	13件
(4) 介護支援専門員に対する情報支援等	36件
(5) 主治医との連携	12件
(6) 地域ケア会議（個別）	7件

⑤その他の取り組み

- ・地域包括支援センター連絡会 <年12回開催 毎月第2水曜日>
- ・高齢者包括ケア会議
<年3回開催 6月7日（水）、10月11日（水）、2月14日（水）>
- ・ボランタリーハウス、シニアクラブ、地区社協等との連携事業等
<75回>
- ・地域包括支援センターだよりの発行
<年4回発行 5月1日号、8月1日号、11月15日号、2月1日号>

基本目標4 人と地域ができる仕事を活かす仕組みをつくります

＜方向性1＞ みんなの出番をつくろう

重点事業1 ボランティアセンターの充実

①個人・団体登録促進と活動支援

- ・ボランティア通信の発行や、一芸ボランティア冊子などでボランティア紹介や調査等を行いました。
- ・ボランティア活動に関する相談、登録等
 - 団体登録 80団体 1,581名
 - 個人登録 51名
 - ボランティア情報配信登録 24名
- ・ボランティア活動保険の加入
ボランティア中の事故やけがに備えるための保険に加入し、事故等の対応を

行いました。

②ボランティア養成講座、体験講座

講 座 名	期 間	受講者	修了者
手話奉仕員養成講座・入門編	8月18日～12月22日 毎週金曜日18回	32名	25名
手話奉仕員養成講座・基礎編	7月13日～12月21日 毎週木曜日23回	5名	5名
点訳ボランティア養成講座	4月24日～8月21日 每週月曜日15回	4名	2名
音訳ボランティア養成講座	4月11日～7月18日 毎週火曜日15回	2名	2名
要約筆記体験講座	2月3日,10日,24日, 3月3日 土曜日 計4回	8名	

③収集ボランティアサロンへの参加促進

- ・関係機関から集まった古切手を整理し切手愛好家の方に購入していただきました。

開催日：毎月第3金曜日午前

場 所：総合福祉会館

参加者数：延べ58名

切手換金額：11,400円

重点事業2 人材育成と活用促進

①生活支援センター養成研修事業

- ・地域の支え合い活動の担い手や、総合事業の生活支援業務従事者を養成する研修を2回開催しました。実務編修了者のうち7名が訪問介護事業所にて生活支援業務に従事しています。

【第1回】ステップ1入門編<5月31日(水)>

　ステップ2実務編<6月16日(金)、6月23日(金)、6月30日(金)、実習1日>

　ステップ1のみ受講7名、ステップ1、2修了31名

【第2回】ステップ1入門編<(10月30日(月))>

　ステップ2実務編<11月7日(火)、11月14日(火)、11月28日(火)、実習1日>

　ステップ1のみ受講3名、ステップ1、2修了25名

- ・ささえあいづくり講座として生活支援センター養成研修のステップ1の講座を八木山地区で開催しました。2月5日(月)、32名修了

②ヘルパー人材発掘研修<11月16日(木)、参加者7名>

- ・ヘルパー資格を持っているのに就職していない方を対象に、「就職応援」と題して研修を行いました。皆さん真剣に研修に参加されました。就職につながる方は有りませんでした。

重点事業3 高齢者の社会参加支援

①お達者でクッキング事業

食生活改善協議会のボランティアの協力により一人暮らし高齢者や高齢者夫婦を対象に年2回開催しました。

- 第1回 開催日：6月22日（木）
 場所：総合福祉会館 料理室
 参加者数：10名
- 第2回 開催日：11月20日（月）
 場所：総合福祉会館 料理室
 参加者数：13名

重点事業4 障がい者の活躍支援

①障がい者サロンへの活動支援

- ・障がい者サロン「みっぱらクック」の継続的な活動を支援するために活動費の助成を行いました。<年間12回実施 延べ311名参加>

重点事業5 子育て支援事業の推進

①ファミリーサポートセンター事業・交流会、産後お助け隊事業、ファミサポ利用会員・サポート会員の登録促進

- ・主に小学校3年生までの子どもを対象に、学校や保育施設までの送迎や一時預かりなど保護者にかわってサポート会員が行いました。

登録者数 : 414名（利用会員320名、サポート会員94名）

※産後お助け隊サポーター42名含む、利用会員兼サポート会員17名

コーディネート実績：410件

新規登録者 : 122名（利用会員103名、サポート会員19名）

- ・事業利用促進としてお試し券の発行（料金を本会が負担）

お試し券利用者 : 10名

- ・ファミリーサポート交流会

市内でファミサポの周知による会員数の増加、現在の会員相互の交流を図る目的で交流会を開催しました。

開催日 : 3月23日（金）

テーマ : 「おやつづくりで子育て交流～かぼちゃのクッキー～」

内 容 : 市栄養士から食育の講座として、かぼちゃのクッキーを作り、会員同士の交流および新規会員募集を行いました。

参加人数 : 56名（利用会員19組・サポート会員8名・一般4組）

②子育てサロンへの活動支援

- ・親子サロンへの助成

市内6カ所で開催されている親子サロンへ活動費を助成しました。

重点事業6 共同募金運動の促進

①共同募金支会の運営

- ・共同募金運動（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）の展開及びPR

赤い羽根募金	歳末たすけあい募金	募金額合計
17,391,896円	2,497,638円	19,889,534円

②歳末たすけあい配分事業 (配分実績の内訳)

配 分 先	対象者数	配分金額
障がい者通所施設	32施設 1,659名	899,481円
地区社協活動（歳末たすけあい特別事業）	17地区 3,600名	1,598,157円
合 計	5,259名	2,497,638円

③共同募金百貨店プロジェクト

- ・企業等との連携協力によりさまざまな寄付つき商品・企画を創りあげ、商品等の売上の一部を赤い羽根共同募金の財源とする取り組みを開始しました。協力店4事業所。

<方向性2> 地域の新たな支えあいの仕組みをつくろう

重点事業1 夢を実現プロジェクト事業の促進

①企画提案型 — 夢を実現プロジェクト事業

- ・企画提案型助成事業の継続支援および拡充

緑苑地区社協 「地域通貨を活用した生活支援事業」 生活支援

ハ木山地区社協 「より住みやすいまちづくりを目指す生活支援活性化事業」 生活支援

各務地区社協 「歴史で広がる郷土の福祉事業」 福祉教育

②企画提案型 — 小地域で行う夢を実現プロジェクト事業

那加一地区社協 「新加納地区暮らし安全防犯パトロール事業」 生活支援

各務地区社協 「川崎団地 お出かけサロン」 外出支援

蘇原南部地区社協 「六軒西第6自治会防犯パトロール事業」 生活支援

鵜沼第三地区社協 「新鵜沼台小さな手助け活動」 生活支援

稻羽東地区社協 「自分の命を守ろう事業」 生活支援

重点事業2 権利擁護事業の推進

①法人後見事業（再掲）

②日常生活自立支援事業（再掲）

③成年後見制度普及講座の開催（再掲）

重点事業3 法人組織の整備強化

①役員構成の再編

社会福祉法人改革後の初年度として、新たな組織体制での法人運営を進めました。また、組織のガバナンス強化、事業の透明性の向上、財務規律の強化について体制づくりを進めました。

理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

理事会 5月2日(書面による決議)、5月26日(金)、6月19日(月)、

10月13日(金)、10月19日(書面による決議)、3月16日(金)

評議員会 5月12日(書面による決議)、6月19日(月)、10月24日(書面による決議)、3月27日(火)

評議員選任・解任委員会 5月30日(書面による決議)、10月14日(書面による決議)

②第51回各務原市社会福祉大会

開催日：11月15日（水）

場所：各務原市民会館

第1部 式典

内容：福祉関係功労者の表彰、わたしのお福わけ大賞者の表彰

第2部 記念講演

講演：「明るく 楽しく あきらめない生き方」

講師：辻井 いつ子さん

参加者数：福祉関係者及び市民 約600名参加

③会員加入促進と使途説明の強化

多くの市民に協力いただけよう、昨年同様各地区社協単位でチラシを作成しました。

世帯会員			賛助会員		合計
会員数	加入率	会費額	会員数	会費額	
36,175	77.7%	18,306,000円	826	3,663,500円	21,969,500円

・会費等検討委員会の開催（全6回）

会員募集に関する課題の整理やあり方などについて、10名の委員で構成する会費等検討委員会を立ち上げ、検討を行いました。

4月28日（金）、6月2日（金）、7月10日（月）、8月4日（金）、
9月15日（金）、9月29日（金）

・寄付金

件数	寄付金額（物品を含む）
83件	2,671,507円

④安全衛生委員会

・職員の健康管理のため健康診断を実施するとともに、安全衛生委員会を開催しました。

安全衛生委員会の開催 毎月1回（月末開催）

職員健康診断の実施 ぎふ総合健診センター等

ストレスチェックの実施

インフルエンザワクチンの接種

11月8日（水）、9日（木）、13日（月）、17日（金）、20日（月）

職場巡回チェック（安全衛生点検）11月17日（金）

産業医参加による健康指導 11月28日（火）

⑤職員レベルアップ講座

・市民サービスの拡充に努め、資質向上を図るため職員全体研修会を行いました。

開催日：10月26日（木）

場所：総合福祉会館

演題：災害ボランティアセンター実施訓練

参加者数：46名

重点事業4 新たな制度外生活支援サービスの創出

①まごころサービス事業

- ・介護保険では行うことができない制度外サービスとして提供しました。

通院支援 24名

大掃除 6名

外出 4名

- ・利用者数 延べ34名

②車いす、松葉杖、レクリエーション用品等の貸出

- ・車いすや松葉づえの貸出

貸出件数 118件 (車いす113件・松葉杖5件)

- ・レクリエーション用品等の貸出 貸出件数 130件